

情報漏洩対策シリーズ

InterSafe SD管理セット

課題

重要データの持出し、こんなことはありませんか？



① 誰でも重要データが自由に持出せる

- 私物のUSBメモリを使用している
- CD、外付けHDDなどで持出している



情報漏洩



② どのようなデータが持ち出されているか不明

- 持出されているデータが確認できない
- 許可していないデータも持出されている



効率低下



③ 持出し先でどのように使われているか不明

- 自宅のPCにもデータが保存できる
- 盗難、紛失してもわからない



盗難紛失

解決

データの持出しを制御 持出す場合は、Webで申請・承認
持出す媒体は、安全なもののみ利用することが重要！

施策①

外部媒体へのコピーを制御



データの媒体へのコピーを制御し
持出しを制御



施策②

ワークフローで承認後に書出し

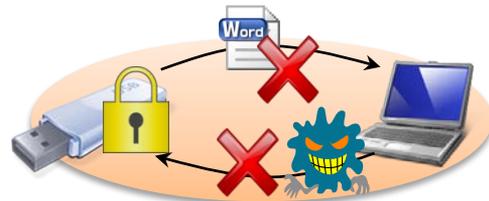


持出す場合は、上長へWebで申請
承認後に書出し可能



施策③

セキュリティUSBメモリを使用



持出す場合は、コピーガード、ウイルス
対策済みセキュリティUSBメモリを使用



デバイス制御

印刷・通信制御

利用USBメモリの制限



デバイス利用申請

ファイル利用申請

申請ファイルのアーカイブ



セキュリティUSBメモリ作成

PW認証

ウイルス対策

コピーガード

InterSafe DeviceControl (デバイス制御)

● 外部デバイスのアクセス制御

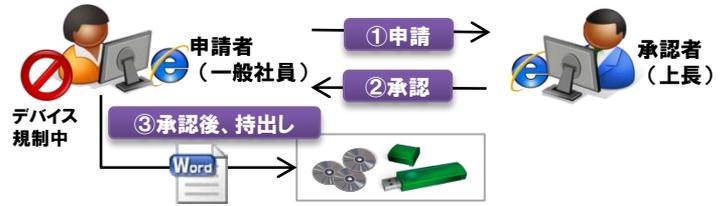
フロッピーディスク、リムーバブルディスク (USBメモリやHDDなど)、CD、DVD、シリアルポート、プリンタ、接続先IPアドレス、ポータブルデバイスの制御



InterSafe WorkFlow (Web型持出し申請・承認)

● 外部デバイス解除、ファイル持出し申請

InterSafe DeviceControlで制御されているデバイスの解除、ファイル持出し申請、承認をWebから行います。承認後にデバイスが一時的に解除されます。



InterSafe SecureDevice (セキュリティUSBメモリ作成)

● 汎用USBメモリをセキュリティUSBメモリへ変換



● 自宅等の外部PCには、データコピー不可(コピーガード)



InterSafe DeviceControl + InterSafe WorkFlow + InterSafe SecureDevice (InterSafe SD管理セット)

デバイス制御で持ち出しできる媒体をセキュリティUSBメモリに限定。他の媒体で持出す際は、ワークフローで管理

● 通常時



● 持出す際はセキュリティUSBメモリ



● 他の媒体で持出す際は、ワークフロー承認後



システム要件

	OS/アプリケーション	CPU	メモリ
ILPサーバ	Microsoft Windows Server 2008, Standard/Enterprise, Edition SP2 Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise SP1 Microsoft Windows Server 2012 Standard /R2 Standard ●対応OS言語:日本語	Intel Xeon 2.1GHz (4Core) 以上	2GB 以上 (4GB 以上推奨)
クライアント導入PC ※1	Microsoft Windows 7 Professional / Enterprise / Ultimate Microsoft Windows 8.1 Pro / Enterprise Microsoft Windows 10/ Pro / Enterprise ※ インストーラによりMicrosoft .NET Framework v3.5が導入されます。 ●対応OS言語:日本語、英語、中国語(簡体) (ブラウザ:Microsoft InternetExplorer 8.9,10,11)		
クライアント未導入PC ※2	Microsoft Windows 7 Professional / Enterprise / Ultimate SP1 Windows 8.1 Pro / Enterprise Windows 10 Pro / Enterprise ※32/64bit対応 ※日本語/英語/中国語(簡体) OS対応		各OSで定義されている 1GB 以上 システム要件に準ずる (2GB 以上推奨)

※1: クライアント導入PC: InterSafe Client (常駐型プログラム)をインストールしたPC ※2: InterSafe SecureDevice Ultimateで暗号化したUSBメモリをInterSafe Client 未導入PCでご利用される場合の動作環境
 ※ OSは、最新のサービスパックを推奨します。 ※ 上記記載はすべてのプログラムが問題なく動作することを保証するものではありません。
 ※ システム要件は予告なく変更する場合があります。ご購入の際には、ホームページより最新情報をご参照ください。

価格(一般ライセンス)

製品	製品に含まれる機能	価格(5ユーザー)	ユーザー単価	
単品製品	InterSafe DeviceControl	管理コンソール、デバイス制御	¥25,000	¥5,000
	InterSafe WorkFlow	管理コンソール、ワークフロー	¥15,000	¥3,000
	InterSafe SecureDevice Ultimate	管理コンソール、セキュアUSBメモリ作成	¥40,000	¥8,000
セット製品	InterSafe SD管理セット	管理コンソール、デバイス制御、セキュアUSBメモリ作成、ワークフロー、セキュアポーター	¥68,000	¥13,600

※ 上記金額の他、製品価格の15%が年間保守費として初年度より発生いたします。アカデミック価格、ガバメント価格もご用意しております。
 ※ 新規ご購入時の最低購入数は5ライセンスです。 ※ セット製品ライセンスは、同時に同クライアント数購入する場合に適用可能です。購入済み製品に対して他の製品を後から追加購入する場合は適用となりません。

アルプスシステム インテグレーション株式会社

本社 〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町1-7 TEL:03-5499-8181
 東京営業所 〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町1-7 TEL:03-5499-8045
 古川営業所 〒989-6143 宮城県大崎市古川中里6-3-36 TEL:0229-23-7734
 仙台営業所 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2-9-16 朝日生命仙台中央ビル4F TEL:022-713-6951
 名古屋営業所 〒465-0095 愛知県名古屋市中区上社2-210 北村第2ビル4階 TEL:052-769-4446
 大阪営業所 〒564-0041 大阪府吹田市泉町3-18-14 TEL:06-6386-2673
 福岡営業所 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-6 第3博多倍成ビル5階 TEL:092-483-1460
 http://www.alsi.co.jp/ Email ssg@alsi.co.jp

お問い合わせ、ご用命は下記へお申し付けください。

※ InterSafe SecureDeviceはアルプスシステム インテグレーション株式会社の登録商標です。
 ※ ALSI(アルシー)はアルプスシステム インテグレーション株式会社のコミュニケーションブランドです。